

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		し尿運搬費助成事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	市民部	課長名	上山 幸顕
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	環境衛生課	担当者名	白濱 ひろ子
	基本事業	16	快適な住環境の整備			所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	10
		1	4	2	1	11474		コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 S60 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	昭和60年にし尿関係事務を市町村で行うことになり、市外で処理するため収集運搬費の助成が必要となった。収集したし尿をクリーンセンター花房まで運搬した量に応じて補助金を交付する。 ※補助額：10ℓにつき10.5円 下水道の普及が進み、汲み取り世帯は減少している。
【業務の流れ】	請求書受付、量の照合、支払事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	なし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
請求書受理、量の照合、支払事務 し尿の運搬実績 3,545kℓ	請求書受理、量の照合、支払事務 し尿の運搬見込み 3,132kℓ
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
⇒ ア 請求件数	件 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 (単位)	
市民	⇒ ア 人口 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) (単位)	
し尿を適正に処理する	⇒ ア し尿収集量 kℓ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
収集運搬するし尿の量に対し補助金を交付する事業のため、成果指標を「し尿収集量」とした。 下水道の普及が進み収集量は減少傾向にあることから、21年度実績(見込み)の「95%」を目標値設定とした。	

(2) 各指標・総事業費 の推移			単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	件		12	12	12	12	12	12	12
	イ									
⑤ 対象指標	ア	人		54407	54407	54800	54856	55300	55750	56210
	イ									
⑥ 成果指標	ア	kℓ		4745	3545	3598	3205	3132	2975	2826
	イ									
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	4,680	3,722	3,778	3,365	3,289	3,124	2,968
	(A) 事業費計		千円	4,680	3,722	3,778	3,365	3,289	3,124	2,968
	(A)のうち指定経費		千円							
	(A)のうち時間外、特勤		千円							
	人件 費	正規職員従事人数	人	1	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	96	168	160	16	16	16	16
		(B)人件費計	千円	381	672	637	64	64	64	64
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,061	4,394	4,415	3,429	3,353	3,188	3,032	

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

合志市

事務事業名	し尿運搬費助成事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した	☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

21年度は、し尿運搬実績 kℓについて 千円負担金を支出した。
 下水道の普及により収集量が減少しているので、補助金の額も減少する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

</